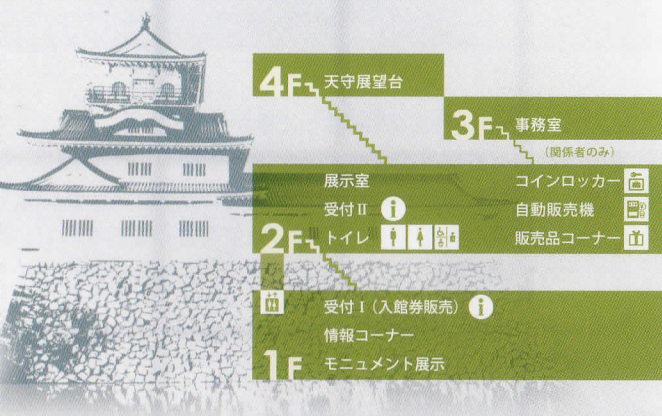


■ 郷土博物館のあゆみ ■

昭和29年、戦災復興事業の完了を機に、富山城址一帯で富山産業大博覧会が開催されました。その際、記念の恒久建築物として建設されたのが富山城天守閣です。会期中は、「美の殿堂」として、各種展覧会が開催されました。

博覧会終了後は、富山市立郷土博物館として開館し、以後、郷土の歴史・文化を紹介する博物館として活動してきました。そして、平成15年から約2年半をかけて耐震改修工事とディスプレイ整備を行い、新たに富山城の歴史を紹介する博物館としてリニューアルオープンしました。

平成16年には、国の登録文化財に登録されています。



■ 利用案内 ■

【開館時間】 午前9時～午後5時（ただし、入館は4時30分まで）

【休館日】 年末年始(12/28～1/4)
※展示替えなどによる臨時休館があります

【入館料】	個人	団体(20名以上)
大人	210円	170円

※特別展会期中は料金を変更します。
※佐藤記念美術館との共通観覧券もあります。

- 【交通案内】
- 富山駅から徒歩 10分
 - 北陸自動車道 富山ICから車で 15分
 - 富山空港からバスで 20分
 - 富山地铁バス「城址公園前」下車徒歩 2分
 - 富山地方鉄道 市内電車環状線「国際会議場前」下車 徒歩 2分
 - 専用駐車場はありません。
城址公園地下駐車場(有料)をご利用ください。



※スロープとエレベーターにより、2階展示室まではバリアフリーとなっていますが、天守展望台へは建物の構造上、階段のみとなっています。

富山市佐藤記念美術館

東南アジアの古陶磁や日本の近世絵画など、東洋の古美術を展示しています。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM

〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内

TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060

<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>



TOYAMA
MUNICIPAL
FOLK
MUSEUM

富山市郷土博物館



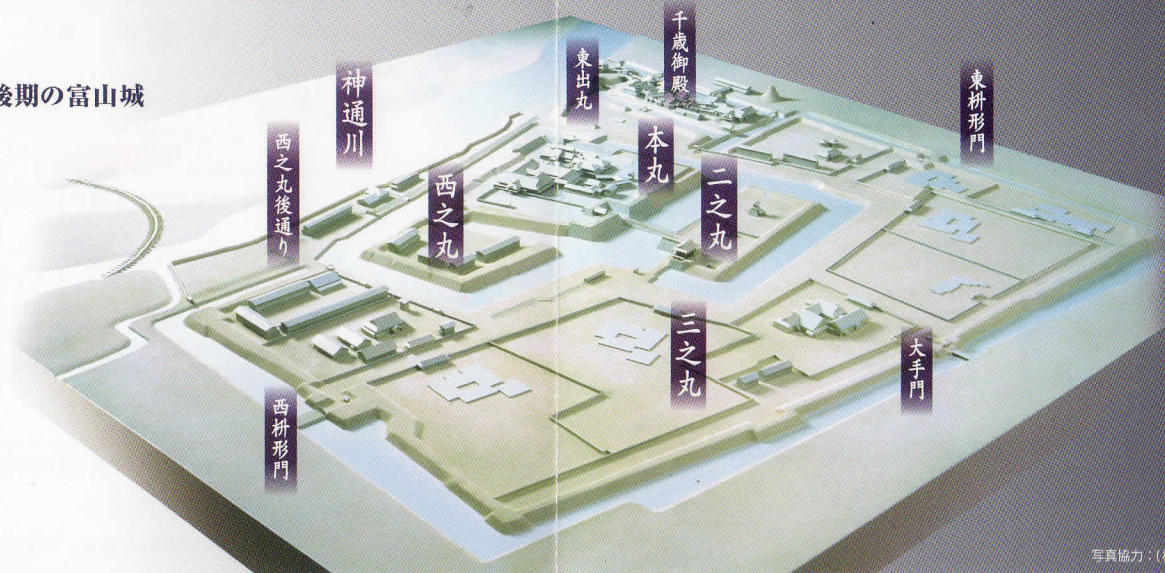
富山城ものがたり



現在、城址公園には堀や石垣が残り、ここに富山城があったことを思い出させてくれます。しかし富山城は、このように身近にありながらも、どのような姿をしていたのか、どのような歴史を経てきたのかなど、意外に知られていません。

当館の展示では、こうした富山城の築城から明治時代以降の城址の変遷に至るまで、400年以上にわたる歴史を紹介します。富山城の歴史の中で、何が分かっていて、何が分かっていないのか、歴史体験「富山城ものがたり」をどうぞご覧ください。そして、観覧の後は、博物館を飛び出して各地の文化財を訪ねてみてください。歴史体験がさらに広がることでしょう。

江戸時代後期の富山城



写真協力：(株)乃村工務社

近世

近世富山城を整備した前田利長。大火で焼失した後、元和元年(1615)の一国一城令により一旦廃城。寛永16年(1639)の富山藩分藩に伴い、初代藩主前田利次が入城。その後、明治時代に至るまで、富山前田家13代の居城となった富山城。江戸時代後期に築造された千歳御殿。

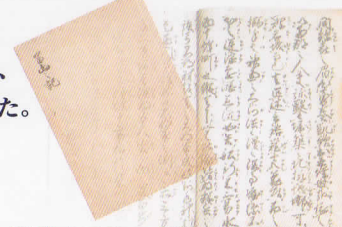
近世の富山城は、藩政の中心として整備が進められました。



中世

天文12年(1543)、神保長職によって築かれた富山城。そして、富山城をめくり繰り広げられる一向一揆勢や、上杉謙信、武田信玄ら戦国武将たちの攻防。織田信長の家臣として入城した佐々成政。天正13年(1585)、豊臣秀吉の征討をうけ、破却された富山城。

中世の富山城は、築城以来、様々な勢力の争奪の場でした。



近現代

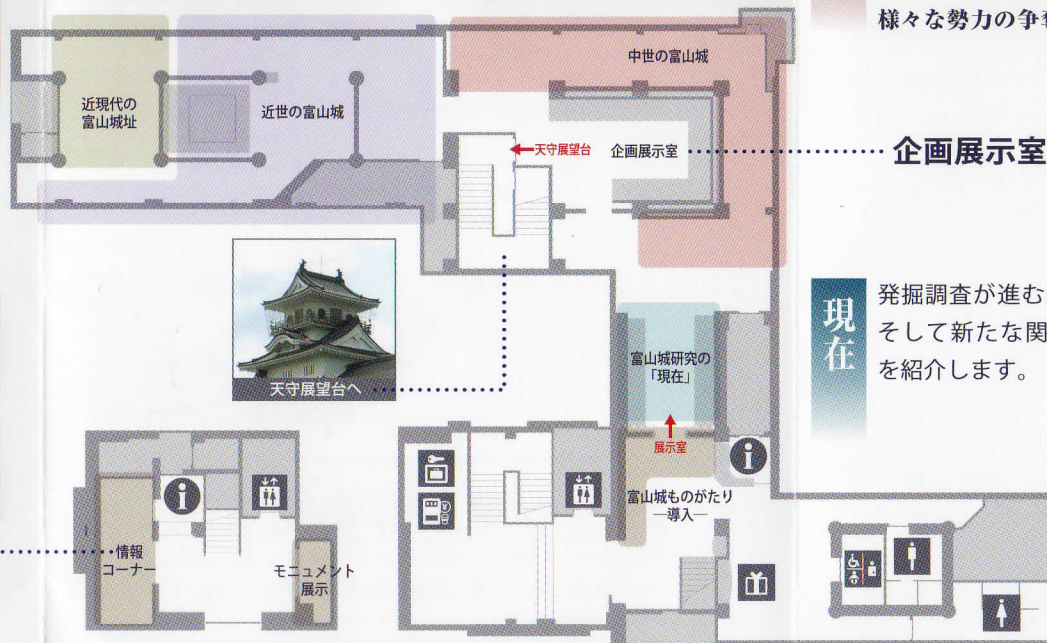
明治6年(1873)に廃城となった富山城。その後、解体と同時に新たな街並みへと変貌を遂げていった富山城跡。戦災復興のシンボルとして建設された天守閣。

富山城跡の中心市街地への変化は、富山市の近代化を象徴するものです。



情報コーナー

周辺の文化財や文化施設の紹介をしています。



企画展示室

富山城に関連するミニ企画展を随時開催しています。

現在

発掘調査が進む富山城址。地面の下に眠る富山城の情報、そして新たな関連資料の発見など富山城研究の最新情報を紹介します。

